

2.3 Vale



2.3.1 企業概要

設立: 1942年	本社: Rio de Janeiro(ブラジル)	上場先: BOVESPA / NYSE / LATIBEX / HKEx
決算期: 12月末	CEO: Fabio Schvartsman (17年5月~)	連結従業員数: 73,596名
主な生産鉱種: Fe Cu Al Zn Pb Pt Pd Au Ag ダイヤ K P 石炭 石油 ガス Ni Mn Mo Nb Cr Ti Zr Co Li B U		

■ 経営数値 ■

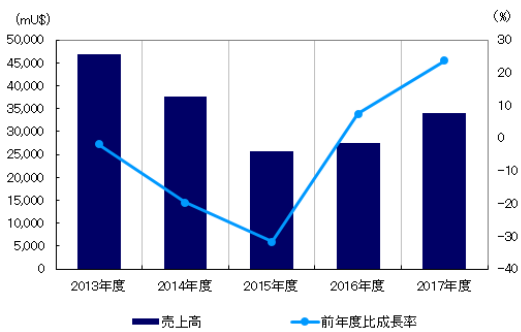


図 2-3-1. 売上

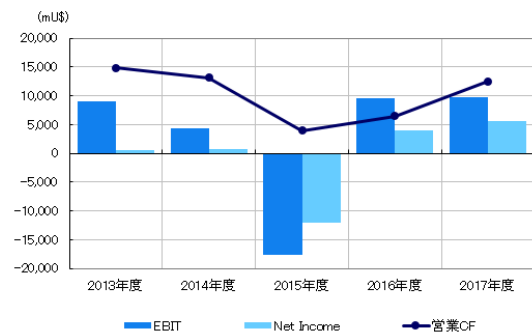


図 2-3-2. 利益

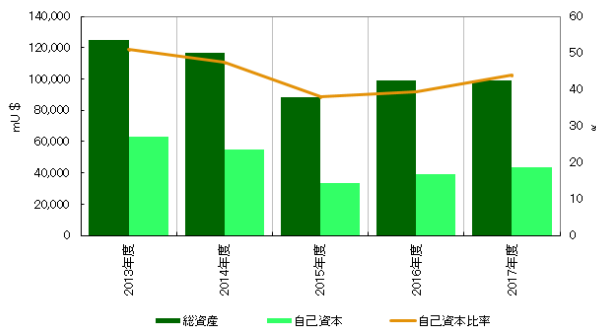


図 2-3-3. 資産

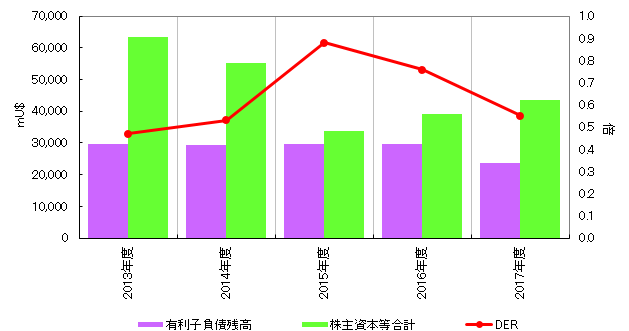


図 2-3-4. 負債

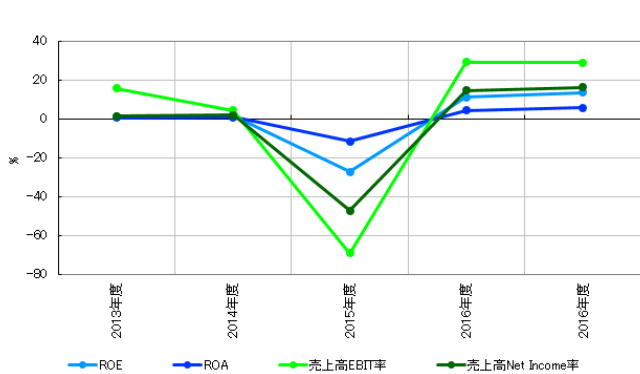


图 2-3-5. 收益性

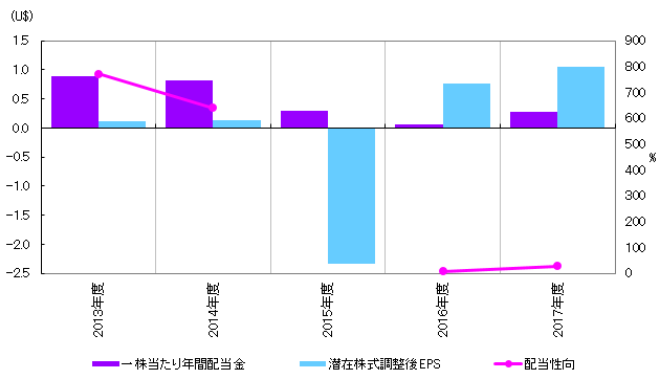


图 2-3-6. 配当

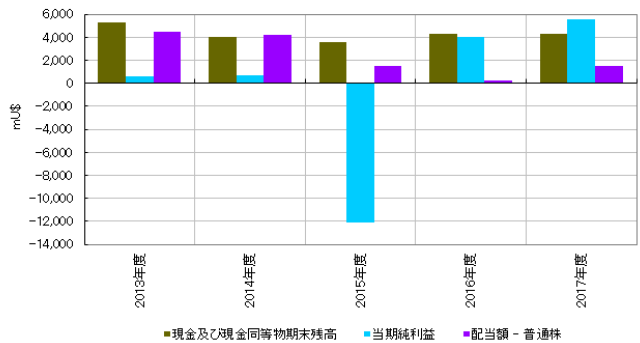


图 2-3-7. 内部留保

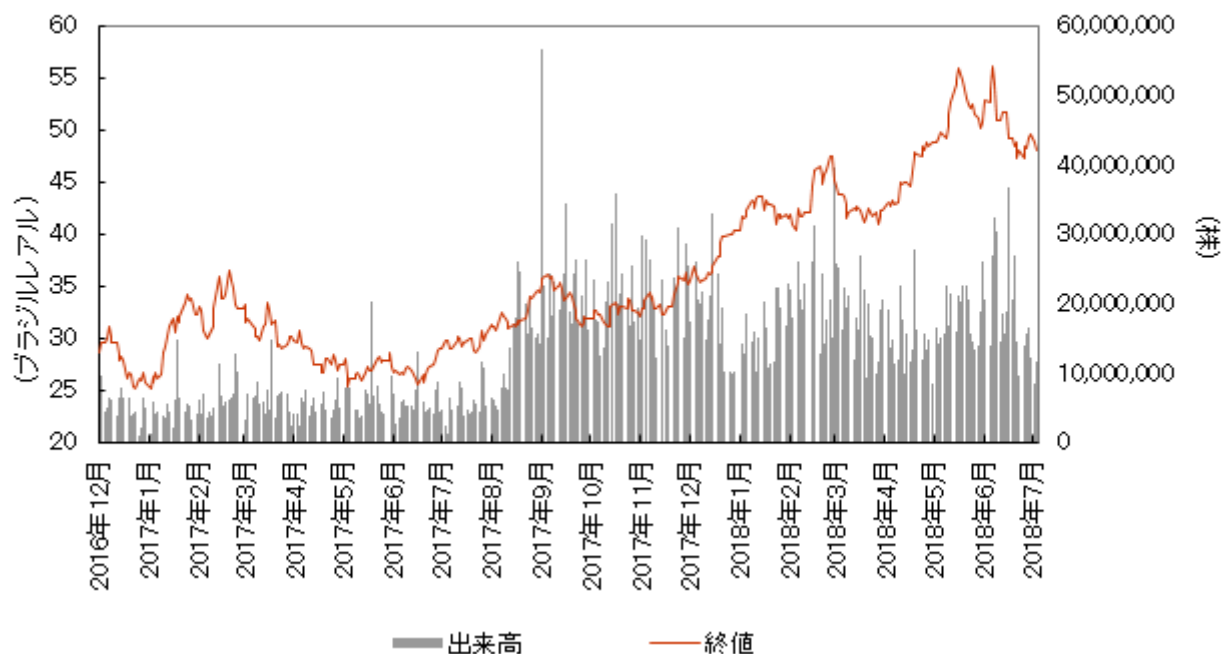
2.3.2 個社概況

2017年は資源価格の回復に加え、資金配分を厳しく管理した効果により、フリーキャッシュフローは資源のスーパーサイクル真っ只中の2011年以来の最高額を記録、正味負債額は前年比30%弱もの大幅減額を実現、同じく2011年以来の200億US\$を下回るレベルまで改善した。

固定資産への投資額は2016年実績より25%以上削減したが、目下の最重要案件であったブラジルのS11D鉄鉱石鉱山の立ち上げが順調な経過を示しており、しばらくは2017年と同程度のレベルで推移する見通しである。

斯かる好決算を追い風に、足元、鉄鉱石事業に大きく依存している事業構造からの転換に向けて具体的に取り組み始めたことを2017年決算発表時に改めて宣言した。鉄鉱石同様、世界最大規模の生産量を誇るニッケル事業か、それともその他の事業領域での展開か、どの様に仕掛けるか動きが注目されるところだが、これまでのところ目立った成果は表面化してはいない。

その後、2019年1月末にブラジルのCórrego do Feijão鉄鉱石鉱山の廃滓ダムが決壊する大事故が発生し、その影響の全容は未確定なるも大幅な減産等、明らかになっているものだけでも決して小さくなく、却って何らかの動きを誘発する要因として作用する可能性も完全には排除できない。



(参考) 図 2-3-8. 株価推移

2.3.3 Vale の鉱種別アセット所在地





2.3.4 オペレーション別の生産量

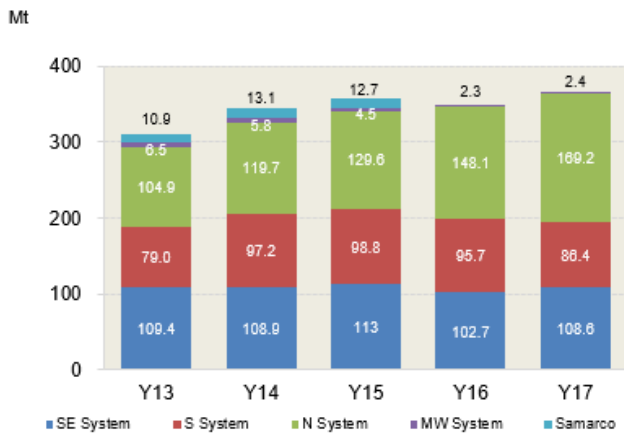


図 2-3-9. 鉄鉱石

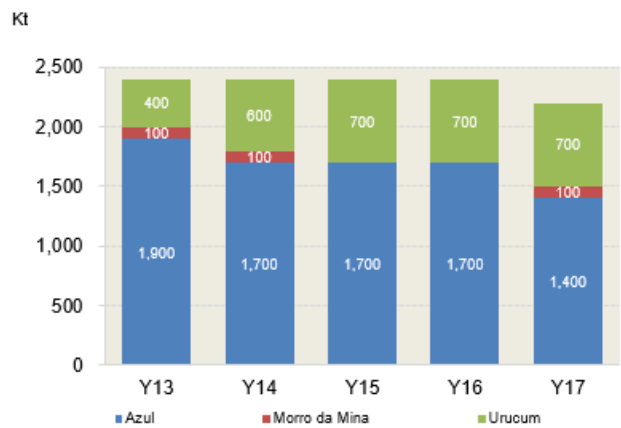


図 2-3-10. マンガン鉱石

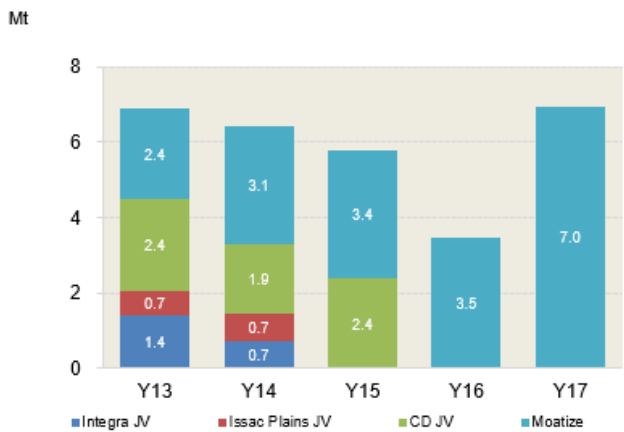


図 2-3-11. 原料炭

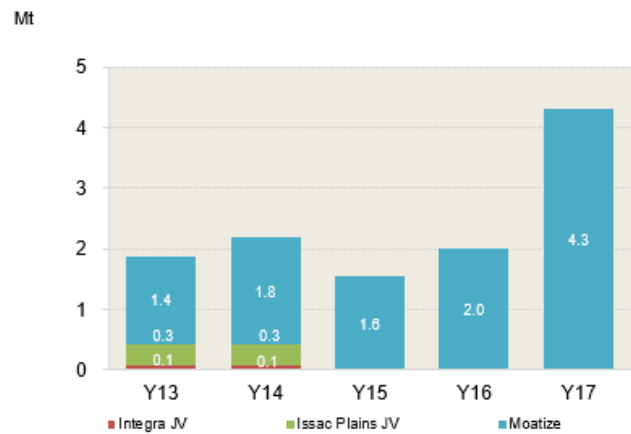


図 2-3-12. 一般炭

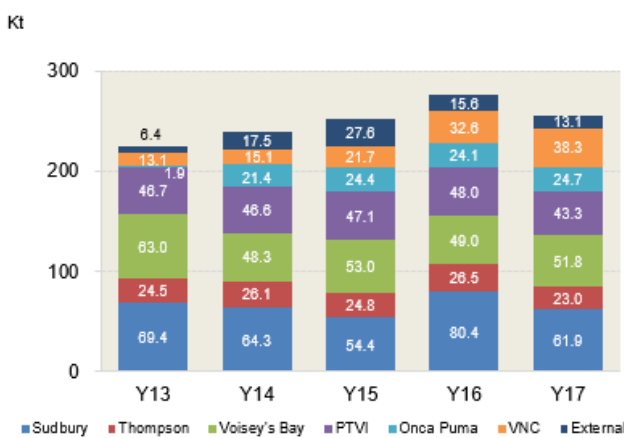


図 2-3-13. ニッケル

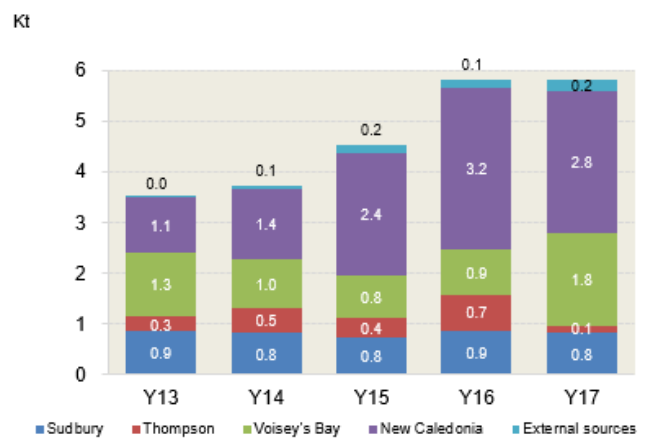


図 2-3-14. コバルト

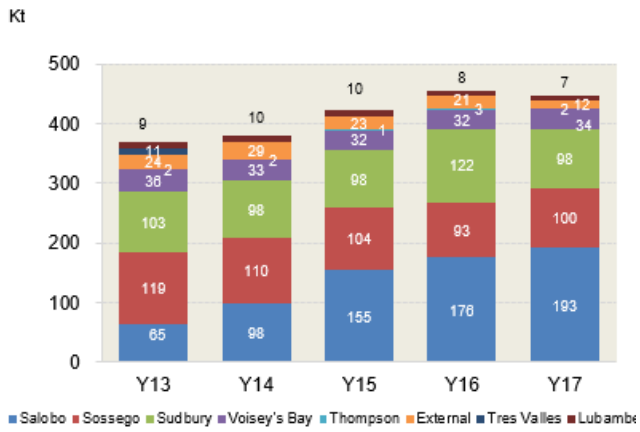


図 2-3-15. 銅

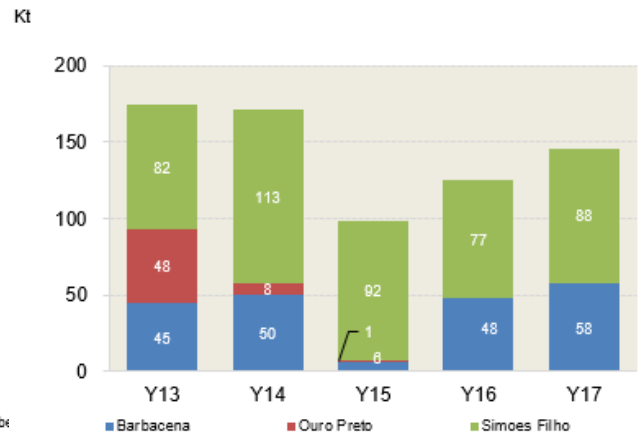


図 2-3-16. マンガン合金鉄

2.3.5 主なトピックス（17年会計年度：2017年1～12月末）

月日	鉱種	ニュース
2017年 1月24日	鉄鉱石	<p>Vale、Carajás S11D プロジェクトから鉄鉱石出荷を開始</p> <p>2017年1月15日付けニュースリリースによると、Valeは1月13日、ブラジル Pará 州南東部に位置する Carajás S11D プロジェクトから鉄鉱石の商業出荷を開始した。</p> <p>初回は26,500tで、3隻の運搬船により出荷された。これら運搬船の積載容量は、73,000～380,000tとされており、今後、ValeのNorth Systemに位置する他鉱山の鉱石も運搬する予定となっている。</p> <p>Carajás S11D プロジェクトは2016年12月に開発が完了しており、鉱山設備とプラントの建設に約64億US\$が、そしてCarajás 鉄道とPonta da Madeira 港湾ターミナル拡張および約101kmの新規鉄道敷設に約79億US\$が投じられた。</p> <p style="text-align: right;">（サンティアゴ事務所 村上尚義）</p>
2017年 3月14日	ニッケル 銅	<p>Vale 社、Stobie ニッケル銅鉱山を休山へ</p> <p>2017年3月10日付けメディア報道によれば、Valeは、同社が加ON州に保有するStobieニッケル銅鉱山の操業を中止し、ケアアンドメンテナンスの状態に移行する方針であることを表明した。</p> <p>Valeは操業中止の理由として金属価格の低迷、鉱石の品位低下に加えて、2017年1月に現地で発生した地震の影響を挙げた。この地震により鉱山では坑内3,000フィートレベル以下で作業を行えない状況が続いており、休山を判断した理由のひとつとなったと述べている。</p> <p>Stobie 鉱山は1890年の開山の後、100年以上にわたり約375mtの鉱石を生産したが、今回の休山によりその歴史に幕を下ろすこととなる。</p> <p style="text-align: right;">（バンクーバー事務所 杉崎真幸）</p>
2017年 3月29日	ニッケル 金	<p>Vale Indonesia 社が Sukhyar 氏を独立監査役に任命</p> <p>2017年3月28日付地元メディアによると、PT Vale Indonesia Tbk (PT Vale) 社は、前鉱物石炭総局長 R. Sukhyar 氏を同社の新独立監査役に任命したと発表した。</p> <p>PT Vale は年次株主総会の後に出された声明において、Sukhyar 氏を今期退任の Idrus Paturusi 氏の後任とすることを明らかにしている。株主総会ではまた、監査役の一人である Stuart Alan 氏の辞職と、Mike Baril 氏の同監査役への任命を承認した。</p> <p>一方、PT Vale の財務取締役 Febriany Eddy 氏は、同社の純利益の低下と拡張プロジェクトへの資金確保のため、2016年度の配当を実</p>

		<p>施しないと述べた。同社の純利益はニッケル価格下落のため、昨年度の 50.5mUS\$から 1.9mUS\$に大幅に減少している。</p> <p>(ジャカルタ事務所 山本耕次)</p>
2017年 5月18日	ニッケル	<p>Vale、Birchtree ニッケル鉱山を閉鎖へ</p> <p>2017年5月17日付メディア報道によれば、Valeは、加MT州トンブソンで操業中の小規模ニッケル鉱山である Birchtree 鉱山を閉鎖する予定であることを発表した。市場価格の低迷と品位の低下を理由とする。</p> <p>閉鎖の時期は2017年10月1日の予定で、200名以上の職が失われる。Valeのマニトバでのニッケル生産量は6,000t減少する。現在のTompson 鉱山の操業は続けられる予定。</p> <p>(バンクーバー事務所 杉崎真幸)</p>
2017年 8月21日	銅	<p>豪EMR Capital社、ザンビアLubambe Cu 鉱山の80%権益を取得</p> <p>2017年8月15日のメディア報道によると、豪メルボルンに拠点を置く投資会社EMR Capital社は、African Rainbow Minerals社とValeがザンビアに保有するLubambe Cu 鉱山の合計80%の権益を97.1mUS\$のキャッシュで買収すると語った。Lubambe Cu 鉱山はザンビアのカッパーベルトに位置しており、残る20%の権益はザンビアの国営公社ZCCMが保有している。EMR Capital社は、2016年12月には豪WA州のGolden Glove Zn-Cu 鉱山をMMG社から210mA\$で買収する契約を締結し、2017年2月に買収を完了させている。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2017年 10月25日	ニッケル	<p>Vale、ニューカレドニアで操業するニッケル鉱山の権益の一部を売却か</p> <p>2017年10月18日付のメディアによると、伯Valeはニューカレドニアで操業する世界最大級ながら多額の赤字を計上しているNi 鉱山に関し、2017年6月に同社CEOに就任したFabio Schvartsman氏による事業見直しの一環として、権益の一部を売却することを検討している。ValeはVale New Caledonia社の一部売却に関してScotiabank社と作業を進めており、売却相手として中国上海を本拠地とする電池向けニッケル・コバルト大手のGem Co社など、中国企業の名前が挙がっている。Schvartsman氏がCEOに就任して以来、Valeは高コストプロジェクトの出資見直しなど、同社の負債削減に向けた取り組みを実施している。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
2017年 11月24日	ニッケル	<p>Vale、ニッケル鉱山売却プロセス延期に関する報道を否定する声明を発表</p> <p>2017年11月20日、伯Valeはニューカレドニアで操業するニッケル鉱山の売却プロセスに関し、応札額が想定よりも低調であったため</p>

		<p>売却を一年程度延期する可能性があるとして一部報道で報じられたことに対し、現在も売却先を選定中であるとして、報道を否定する声明を発表した。売却プロセスと並行し、Valeはニューカレドニアにおけるニッケル生産コストに関し、生産量を増加させ2017年中に10,500～11,000US\$/tにまで低減させることを目標としている。</p> <p>(シドニー事務所 吉川竜太)</p>
--	--	---